

人と人をむすぶ、  
人と世界をむすぶ

しーあ  
VOL.126

2024 Spring



公益財団法人 滋賀県国際協会

Shiga Intercultural Association for Globalization

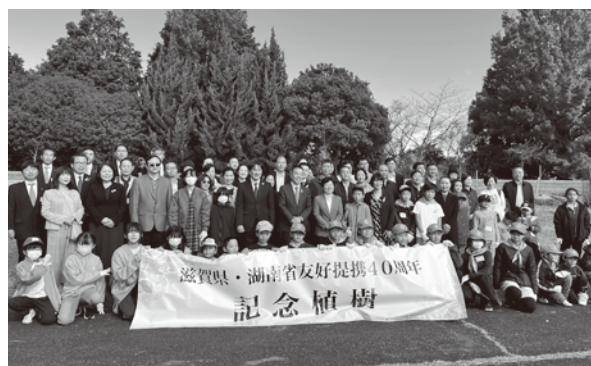
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20 ビアザ淡海2階

TEL.077-526-0931 FAX.077-510-0601

E-mail: info@s-i-a.or.jp URL: https://www.s-i-a.or.jp

特集

## 滋賀県ミシガン州友好親善使節団来県 滋賀県・湖南省友好提携40周年記念事業開催



新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響で、姉妹友好州省との対面での交流事業を実施できない状況が続いていましたが、2023年、交流事業が再開され、姉妹友好州省の皆さんとの再会が果たされました。今回はその様子をお届けします。

### 交流の歴史

ミシガン州との交流のスタートは55年以上遡ります。日本一の琵琶湖をもつ県として、人と人との交流、資源・環境保護という目的から、1968年(昭和43年)11月、世界最大の淡水湖をもつミシガン州と姉妹協定が結ばれました。また、1976年(昭和51年)には第1回滋賀県ミシガン州友好親善使節団がミシガン州に派遣され、民間交流の大きな契機となりました。以来、派遣と受入れを年ごとに交互に実施し、交流を続けています。

一方、滋賀県と中国湖南省は、琵琶湖と洞庭湖という両国を代表する淡水湖を縁として、1983年(昭和58年)3月に友好県省協定を締結しました。以降、湖南省技術研修生(のちの海外技術研修員)の受入れや教育施設建設援助事業、湖南平和堂開店、植林事業など、文化・教育・経済・観光・環境・農業などの多岐にわたり相互交流を深めてきました。

### Contents

#### ① 特集

滋賀県ミシガン州友好親善使節団来県  
滋賀県・湖南省友好提携40周年記念事業開催

- ◎交流の歴史
- ◎滋賀県ミシガン州友好親善使節団来県
- ◎滋賀県・湖南省友好提携40周年記念事業開催

#### ③ 次世代人材育成セミナー報告

#### ④ SIA NEWS

- ① 国際教育ワークショップ  
地球市民を地域とともに育てよう part 22  
「身近なことから世界と私を考える学びを創る  
～平和・環境へまなざしを向けて～」を開催
- ② 第6回 国際交流・協カラライブチャンネル  
「フィジーから環境を考える～取り組みの現場より～」を開催  
【報告】第20回BNN 外国人による日本語スピーチ大会

#### ⑤ 今、この人にInterview

外国人児童生徒指導協力員 奥山 ルジミラ マリさん

#### ⑥ おしえて世界のこと

働く人の定番のお昼ごはんは何ですか?

#### ⑦ SIAメンバーズ

## 滋賀県ミシガン州友好親善使節団来県

2023年10月19日(木)～26日(木)

コロナの影響で派遣・受入れともに事業が中止となっていました。受入れの年にあたる2023年、4年ぶりに事業が再開となり、37名の団員の皆さんがミシガン州から来県されました。

### ▶ 対面式

滋賀県庁で行われた対面式にて、いよいよこれから4泊5日を共にするホストファミリーとの顔合わせです。交流を続けてきた方たちとの久々の再会を喜ぶ姿もあれば、初めての来県・初めてのホームステイに緊張されている姿も。



### ▶ ホームステイ

この友好親善使節団は、ホームステイを通じてホストファミリーと団員の皆さんが日常生活を共にすることで、お互いの相互理解を深め、友情を育むことが一番のハイライトとなります。また、ホームステイ期間中は、ホストファミリーとの時間だけでなく、滞在する各姉妹都市で様々なプログラムが用意されています。市長への表敬訪問や地元高校生との交流、県内企業への訪問等、色々な面からより滋賀県のこと・姉妹都市のことをミシガン州の皆さんに知っていただく機会となりました。



### ▶ 送別会

ホームステイを終え、琵琶湖ホテルで送別会が行われました。対面式では緊張の面持ちだった皆さんですが、送別会ではとても充実した様子で、団員の皆さんにとっても、ホストファミリーの皆さんにとっても、今回のホームステイがいかにも素晴らしい体験だったか、その表情が物語っているようでした。

送別会の最後は会場全体で輪になり、琵琶湖周航の歌を合唱。新たな家族の一員となった団員の皆さんとは一旦お別れとなりますが、この先もこの友情が育まれていくことを願うばかりです。



## 滋賀県・湖南省友好提携40周年記念事業開催

2023年11月10日(金)～11日(土)



2023年は、滋賀県と湖南省の友好提携が40周年を迎えた年でした。そのことを記念して、記念訪問団54名の皆さんが湖南省から来県され、40周年を祝う様々な事業が開催されました。

### ▶ 記念会談

大津プリンスホテルにて、呉桂英湖南省委員会常務委員と三日月知事の40周年記念会談が行われました。今後の交流について、「健康長寿」「持続発展」「恒久平和」の3点で関係を発展させていくこと、特に青少年交流が恒久平和において重要となることが示されました。

### ▶ 記念式典・記念レセプション

記念式典では、次世代を担う青少年交流や文化・芸術、経済、観光、環境保全、医療・介護等の分野で交流を進めることが記された覚書が調印されました。また、2023年7月に始まった大学生交流の成果について、両県省の大学生たちが発表を行いました。学生たちの活気あふれる発表に、今後の交流を担う若い世代への期待が高まります。



レセプションでは、官民間問わず両県省の多くの方々が再会を喜び、また、新たな交流を生み出す場となりました。最後はミシガン州友好親善使節団の送別会と同じく、会場全体で輪になり琵琶湖周航の歌を合唱。伴奏のヨシ笛の美しい音色が響く中、40年間の交流に思いを寄せながら、これからも長くこの交流が続くことを願う和やかな雰囲気会場全体が包まれました。



## ▶ 記念植樹

式典の翌日、栗東市内の日産リーフの森にて、未来への友情を繋ぐ証として、ヤマザクラ・ヤマモミジ・コナラの苗木30本を参加者全員で植樹する記念植樹が行われました。

学生や子どもたちも多く参加された今回の記念事業。この交流が次の世代に受け継がれ、未来へと繋がっていくことに期待します。

コロナ禍では対面での交流の機会が閉ざされ、もっぱらオンラインでのつながりが主流となりました。気軽に参加できる点や時間的な制約が少ない点等、オンラインにはオンラインの良さがあることに気付かされました。

ただその一方で、画面上ではなく実際に会って交流することは、お互いの物理的な距離が縮まるだけでなく、相手と心が通う瞬間を感じたり、相手のことをもっと知りたいと思ったり、心が動かされる体験にあふれていることを、今回再開された事業を通して改めて認識しました。この体験が、これから先の滋賀県と姉妹友好州省、また他の国や地域との、より豊かな交流の礎となることを願ってやみません。

## 2023年度次世代人材育成事業 「多文化共生×SDGs×開発教育」連続セミナー報告

- 第1回▶ 7月15日(土) ピアザ淡海(大津市)  
参加者同士の新たな出会い
- 第2回▶ 8月3日(木) 日本ラチーノ学院(東近江市)  
ブラジル人学校の生徒との出会い
- 第3回▶ 9月10日(日) モスク アンヌール能登川(東近江市)  
ムスリム(イスラム教徒)との出会い
- 第4回▶ 10月14日(土) 滋賀朝鮮初級学校・渡来人歴史館(大津市)  
日本に根付く朝鮮半島の歴史と今との出会い
- 第5回▶ 11月25日(土) ピアザ淡海(大津市)  
これまでの学びのふりかえり
- 第6回▶ 12月16日(土) ピアザ淡海(大津市)  
講演会および受講生による発表会  
講演:「多文化共生社会のつくり方  
～求められるのは「当事者性」と「専門性」の高い担い手だ!～」  
《講師》一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎さん

今年度、18人の受講生が全6回の連続セミナーを修了されました。また今回は、オプション企画として、日本語教室の見学やベトナム人コミュニティとの交流会なども実施しました。



▲モスク

特に印象に残ったのは、ブラジル人学校で日系の生徒たちからファミリーヒストリーを聞かせてもらったことや、交流する中で聞こえてきた生徒たちからの「この先、日本社会でうまくやっていけるだろうか」という不安の声。また、モスクでは仕事に礼拝を禁じられているつらさや、

子どもが学校で周囲から好奇の目にさらされたくないからと、ヒジャブを被らなくなったり、宗教的に食べられない給食の日を持参していたお弁当すら、高学年になると持っていくことを嫌がり、白米だけで過ごしている日もあるといった話。そして、いじめやヘイトスピーチについて当事者から生の声を聞くことで、現実のものとして理解できたという受講生もいました。不安や不便なことがあっても、外国人県民のみなさんが明るくたくましく暮らしている姿に触れたことで、受講生同士の中でも、みんなが暮らしやすく、お互いを思いやれる社会をつくらうとする姿勢や言葉遣い、向き合い方に感化された時間だったとの感想が聞かれました。

第6回の講演では、講師の田村さんより、これから人が集まるのは「自由で寛容な居心地の良い地域」であり、特に、移民とセクシャルマイノリティに対して寛容であることが重要であること・国レベルでできないことも、先んじて地域独自で取り組んでいくことはできること等をお話いただき、受講生にとって今後の活動への心強い指針となりました。



▲ブラジル人学校

今年度の事業について、詳しくは当協会ウェブサイトにて報告書を掲載しておりますのでご覧ください。



<https://www.s-i-a.or.jp/references/904>

## News

### 1

## 国際教育ワークショップ 地球市民を地域とともに育てよう part 22 「身近なことから世界と私を考える学びを創る ～平和・環境へまなざしを向けて～」を開催

**日時** 2024年1月13日(土) 9:50～16:45 **会場** ピアザ淡海(大津市) **参加者** 18名  
**共催** JICA関西、Glocal net Shiga  
**講師** 西上 壽一さん(地球市民フォーラムなら運営委員、開発教育研究会運営委員、奈良県ストップ地球温暖化推進委員)

講師の西上さんが参加型学習を取り入れることにしたきっかけは、現役教員時代、人権教育で差別はいけない、こんな差別がある、というような一方通行の授業では子どもたちに全く響いていないと実感したからだったそう。今回、ウクライナ紛争が始まったときに居てもたっても居られず、「対話する場をつくりたい」と作成されたワークを紹介されました。また、世界各地で起こる紛争や戦争の裏にある歴史的背景について、カードの組み合わせを通して学ぶアクティビティなどを体験しました。ワークショップを作るヒントとして、「距離的だけでなく、時間的な近さを感じるためにも時事的な問題を扱うことに意味がある。目的意識を持っていると、新聞やニュースなどで引っ掛かってくるものがあり、いつか使えるものが出てくる。自分は、テーマごとに分けてノートに切り貼りしてそれらを貯めている」とアドバイスがありました。



▲イスラエルとパレスチナの変遷についてカードで学ぶ



▲難民になるってどういうこと?

## News

### 2

## 第6回 国際交流・協カライブチャンネル 「フィジーから環境を考える～取り組みの現場より～」を開催



**日時** 2024年2月17日(土) 10:00～12:00  
**参加者** 31名  
**協力** JICA関西

オンラインでの国際交流イベント、ライブチャンネルを開催しました。今回は南太平洋にうかぶ島国であるフィジー共和国より、現地で廃棄物処理の技術指導に携わっておられるJICA海外協力隊員の金沢さん、古川さん、田中さんをゲストにお招きし、文化や生活の様子等を紹介いただいたり、フィジーにおけるゴミ処理の現状や課題等についてレポートいただきました。ライブ中継やインタビュー動画等を交えながら、ゴミ処理費用増大の現状や都市部への人々の流入に伴うゴミ問題等、現地のリアルな様子を伝えていただいたことで、新たな気づきや深い学びにつながるきっかけとなりました。

参加者からは「フィジーの環境問題や生活風景を、現地の声を通して学ぶことができたため、とても勉強になった」「自国だけでなく、世界の問題として、改めて環境について考えることができた」といった感想が寄せられました。

来年度もライブチャンネルを実施予定です。次回もぜひご参加ください。

## 報告

## 第20回びわこ日本語ネットワーク(BNN) 外国人による日本語スピーチ大会 —つたえよう 私のおもい—

【(公財)滋賀県国際協会協力事業】

20周年という節目の年のスピーチ大会となりました。  
20年間でこのスピーチ大会への応募者は700人以上、出場者は400人以上とのことです。おめでとうございます!



**開催日** 2024年2月25日(日) **会場** 石部文化ホール(湖南市)  
**出場者** 12名

受賞者の皆さん  
おめでとう  
ございます!

- 最優秀賞[知事賞]…  
「**心の変化**」 平野 ヴァネッサさん(オーストラリア)
- 優秀賞[湖南市長賞]…  
「**花**」 ピョー ミン アウンさん(ミャンマー)
- 優秀賞[BNN賞]…  
「**運動しましょう!**」 トリ アディウィボウォさん(インドネシア)
- (公財)滋賀県国際協会 会長賞…  
「**ふるさとの農業を思う**」  
アルディ グルニ アワンさん(インドネシア)
- 奨励賞…  
「**やさしい日本語でコミュニケーションしよう**」  
アフレザ リヤンディーカさん(インドネシア)

\*( )内は出身国

# 今、この人に **Interview**

外国人児童生徒指導協力員

奥山 ルジミラ マリさん

どんな活動も“子育て”をキーワードに、外国人、日本人関係なく大好きな子どもたちのために、無理なく楽しく活動しています。



■2005年の当協会発行の外国人向け情報紙「みみタロウ」では、和太鼓を通じた地元の方との交流について紹介させていただきました。それから20年ほど経ち、奥山さんの地域での活動はどのように変化しましたか？

私には子どもが4人いて、子どもが小学校の時に通っていた学校の校長先生とのつながりから、2007年に、ある小学校でブラジル人の子どもの言語のサポートを依頼されたことがきっかけとなり、その時から外国人児童生徒指導協力員をしています。湖西地域にある学校を中心に、滋賀県内の小中学校に通うブラジル人の生徒たちの支援をしてきました。現在は、週に2回行っています。

■外国人児童生徒指導協力員とは具体的にどんなサポートをされるのですか？

子どもたちが教室で習っていることを別室でポルトガル語で説明したり、学校から親に渡される通信をポルトガル語に訳したり、三者懇談で通訳をしたりという活動で、学校と家庭のパイプ役となります。また、幼少時から日本にいる子どもに関しては、日本語は理解できますが、母国語であるポルトガル語が聞き取れても話すことができないときに、日本語でわかりやすく説明します。その一方で、親は日本語が分からないので、家族内でのコミュニケーションは複雑な場合もあります。他にも、県立学校でハートフル支援員としても活動しているので、三者懇談や、進路の説明の通訳もさせてもらったりして、保護者の方から相談などを受けることもあります。

■奥山さんは昨年、里親として子どもの成長を支援されたとして、大津市長感謝状を受け取られたとお聞きしています。里親の活動のきっかけは何だったのですか？

昔、ホームステイの受け入れをしていて、ミシガン州やオーストラリアの学生が毎年家に来ていました。私は子どもが大好きなんです。私の4人の子どもたちが成人した後も、子どもと関わりたいと思っていました。夫と相談して、2016年に里親申請をして登録し、その年の12月に1人目となる子どもを2年間ほど迎え入れ、

その後2人目となる子どもは約4年間迎え入れました。現在は、数日から1~2週間の短期間で迎え入れることがあります。というのも、現在長男家族と同居しているため、子どもたちが過ごすプライベートの部屋がなくなり、長期間の迎え入れが難しくなったんです。

■これまで日本人の子どもを迎え入れて来られたということですが、里親の活動に対する奥山さんの想いをお聞かせください。

私は日本人と外国人、自分の子どもと他人の子ども、といった線引きは全くしません。叱るときも、自分の子どもと同じようにしています。里親として子どもを迎え入れている間も、日本人の子どもという意識はなく、いつも通り、日常生活では、日本語とポルトガル語が飛び交っていました。

■奥山さんは子どもと関わる活動をとても楽しんでいるように思います。その秘訣は何ですか？

私は“かざること”や無理が嫌いなんです。私の活動は全て“子育て”がキーワードで、自分の4人の子育てと同じように楽しみながら活動しています。里子がいる時は、“実子が増えた”気持ちになって、ますます楽しくなります。また、ハートフル支援員の活動で知り合ったブラジル人のお母さんとは、今も仲良くしています。そうした親との繋がりが続くことが一番楽しいです。同じブラジル人として常に何か役に立ちたいと思っています。

■滋賀県での暮らしも25年以上経つとのことですが、奥山さんが考える地域社会のあり方を教えてください。

日本人は自分の思いをはっきり伝えない人が多いように思います。学校から講演依頼があったときは必ず、「自分が“嫌だ”と思うことは、絶対に他人にはいけない」、そして、「嫌なことは“嫌だ”とはっきり言いましょ」と話しています。私の子育てでは、「挨拶と自分の思いをはっきり伝えること」、これが外せないことです。自治会単位のお隣同士の付き合いも、もっとコミュニケーション豊かにできたらいいですね。

ちなみに、滋賀県に来る前、琵琶湖の

▲日本人と結婚したので、奥山という名字がつけましたが、みんなからはニックネームで「ルージ」と呼ばれています。2016年に初めて夫と一緒にブラジルへ帰省しました。ブラジルの故郷の暮らしを見て、私の「賑やかでいつも元気なところ」のルーツを夫に知ってもらいたかったのです(笑)

## ●プロフィール●

日本が好きで、ブラジルで中学生の時に空手を習い、大学で日本語を勉強。さらに、ブラジルで日本の和太鼓グループのコンサートを観に行っただけで和太鼓に興味を持つ。1989年日本に留学。その後日本人と結婚し、1998年に京都から滋賀に移住。地元で伝わる野村太鼓のグループに入り、地元の人たちと演奏活動を続けている。現在は外国人児童生徒指導協力員をしながら、太鼓の指導や里親等、多方面で活動している。



▲舞台上、長男さんと次女さんと一緒に、和太鼓演奏を楽しむ奥山さん。4人のお子さんが小さい頃から、家族みんなで演奏活動を続けられています。

ことはあまり知らず、池くらいの大きさをイメージしていましたが、実際にはほぼ海で驚きました(笑)私の出身地のリオデジャネイロ州は海が近く、湖と山が近い滋賀の風景に親近感がわき、滋賀に来たことで、里帰りできた気分になりました。いつも“住めば琵琶湖”と言っています(笑)できることなら、来生はここで生まれたいです(笑)

■最後に、奥山さんの今後の抱負をお願いします。

毎日、楽しく生きる！私は人とつながること・人と接することが好きなんです。明日はわからないので、今を最高に楽しむ。今はスポーツセンターのフロントの仕事と学校での支援、そして月6回の和太鼓指導と練習イベントでの演奏とフル回転していますが、この毎日忙しい状況がとても楽しいですね。

# おしえて世界のこと

## テーマ

## 働く人の定番のお昼ごはんは何ですか？

あつという間に年度末ですね。この時期は、その年度のまとめや新年度に向けての準備等、どうしてもバタバタと忙しい時期です。

今回は、世界各国の働く人の定番のお昼ごはんを聞いてみました。写真を見ているだけでお腹が空いてきそうです(笑)ぜひ今日のランチの参考にしてみてください。

しっかりお昼ごはんを食べて、栄養をとって、忙しい年度末&年度はじめを元気に乗りきりましょう！

### ■カナダ

#### エミリー ラモン カルディナルさん (元滋賀県国際交流員)

カナダには給食がないため、自分のランチボックスを持つことが普通です。外食する人もいれば、職場で食べる人も多いです。例えば高層ビルで各階にキッチンがあって、そこに大きな冷蔵庫、何台かの電子レンジ、ポット、シンクとテーブルが設置されています。12時~14時の間で1時間を取って食べるのです。ランチの中身は大きく2種類あります。そのまま食べるもの(サンドイッチ・サラダ・スープ等)と温めて食べるものです。晩ごはんを作る時に、次の日の昼の分も一緒に作ります。他には果物・野菜や飲み物とかも持っていくます。

### ■コロンビア

#### 白根 昇さん (JICA海外協力隊員)



私の職場の近くのレストランはどこもお昼ごはんは定食です。大きなお皿にご飯、野菜、煮豆、調理用バナナ、アボカドなどがのってこれにお肉がつきます。お肉は、牛肉、豚肉、鶏肉から1つ選びます。これにスープとジュースがついて1セットです。日本円にして400円くらいです。味付けは比較的あっさりしています。食べる時間帯は12時から13時の間が多いです。コロンビアでは昼食がメインで、夕食はコーヒーとアレッパ(トウモロコシの粉を焼いたパンケーキみたいなもの)などで軽く済ませます。だから、昼食のボリュームは結構あります。

### ■ブラジル

#### ギマランイスさん(滋賀県国際交流員)

ブラジルでは日本と同じように、自分の家からお昼ごはんを持参する人がたくさんいます。違いは、ブラジル料理が常温にあまり向いていないことです。温かいものが多く、一回冷めると電子レンジなどで再び温める必要があります。また、お弁当屋さんの弁当も、「ケンチーニャ」といって、「温かい」という意味が言葉にも含まれています。ちなみに、自分の家から弁当を持ってくる人もいれば、もちろん外食する人もいますが、ブラ

ジルではレストランだけではなく、「コシーニャ」(ブラジル風コロッケ)などの揚げ物がある軽食店もとても人気があります。

### ■アメリカ

#### 松原 勇太さん

(滋賀県ミシガン州経済交流駐在員)

ランチボックスや冷凍食品を持ってきて職場で食べるという人もいますが、やはりアメリカ、ハンバーガーやホットドッグ、ピザをお店で食べたり、テイクアウトしたりする人も多いです。そのなかで、よく見かけるのが「サブ(sub)」。正式名称は「サブマリン・サンドイッチ」といい、潜水艦に形が似ていることからこの名前がついたそうです。私の住んでいるランシングにも「サブ」を出すお店がたくさんあるので、巡ってみるのも楽しそうです。



### ■セントルシア

#### 山口 咲子さん (JICA海外協力隊員)

私はいつもオフィスで同僚たちとお昼ごはんを食べます。といっても、セントルシア人はみんな集まってワイワイ食事をするのはあまりしません。個人で黙々と食えることが多いです。定番のお昼ごはんは、オフィスで大きなミーティングやイベントがある際に必ず付くランチです。密かにこれが楽しみだったりします！そのランチにはセント



ルシアのローカル料理がたくさんつまっています。メインはチキン、ポークか魚、サラダ、ソルトフィッシュ(塩漬けの魚)とイモ類を和えたもの、麺類、ピラフ、煮豆などが入っています。

### ■イギリス

#### ハリー ブロートンさん

(滋賀県国際交流員)

日本のコンビニにはない「ミール(お食事)ディール(お得)」というお食事セットがあります。メイン、スナック、ドリンクを一律の料金で買えるものです。物価高騰の中、イギリスの大手スーパー

ではミールディールを久しぶりに値上げしたことが話題になり、今は650~950円かかります。メインは、サンドイッチが定番で、中でも、チキンサラダや、エッグマヨなどは一番人気です。スナック、ドリンクも色々あります。働きながら机の上でサンドイッチを食べるお昼の様子はイギリスらしい職場の感じですよ！

### ■中国

#### 西村 文彦さん

(滋賀県誘客経済促進センター〈湖南省〉所長)

中国では「外売(ワイマイ)」というフードデリバリーが発達していて、お昼時には職場の玄関に様々なお店から届いた食事が並びます。もちろん、付近の飲食店にも正午には多くの人立ち並び、中でも「米粉(ミーフェン)」は定番です。米粉は米を原料にした麺で、「長沙米粉」は長沙っ子のソウルフードとも言え、ツルっとした食感はクセになります。朝食や夜食にも多く食べられま



すが、「辣椒炒肉(とうがらしと豚肉の炒め)」や「西红柿炒蛋(トマトと卵の炒め)」などのおかずをのせた熱々の米粉は午後からの活力を養う一杯になっています。

### ■ドミニカ共和国

#### 林 真理さん (JICA海外協力隊員)

ドミニカ共和国では、1日3食のうち一番ボリューム感がある食事をするのが昼食になります。お弁当を持参される職員もいますが、コメドールと呼ばれる食堂や交通量の多い道路端ではキッチンカーならぬ簡易販売所が見られ、日本でいう「Plato del dias(日替わり定食)」みたいな定食を求めて行列が出来ます。昼食の定番はご飯に豆ソース、サラダにお肉か魚をメインに選びます。お米は油と塩を加えて炊かれており、暑い屋外での仕事で汗をかいた後にしっかりミネラル補給だ！くらいに味は濃いんです。



# SIA メンバーズ

Members of Shiga Intercultural Association for Globalization

SIAメンバーズ各店より滋賀県国際協会会員の皆さまに会員相互の交流を目指して  
会員特典を提供いたしております。特典利用の際は会員証を提示してください。

## お店コーナー

### 神原税理士事務所

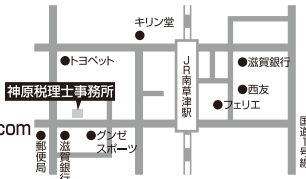
日々の帳簿処理、会計や税金について、できるかぎり、お客様の立場でわかりやすくサポートします。とくに海外勤務や英文経理の経験がある税理士が、日本語が苦手な外国人事業者の確定申告や中小外資法人の会計税務にも対応します。



**会員特典** 相談料無料(何でも気軽に相談ください)

住所: 草津市南草津2丁目3-9  
コミュニティ南草津ビルⅢ3F-B  
(南草津駅西口より徒歩5分)  
電話: 077-599-3480  
(電話受付可)

URL: <http://www.kambara-office.com>  
営業時間: 9:00~17:00  
定休日: 土・日・祝



### 中華料理 オーパスワン



#### ★春のおすすめコース★

お1人様 **4,000円**(税込)  
前菜・季節のお料理3品・  
ミニ担担麺・デザート2品  
(2名様以上で前日までに  
ご予約ください)  
4名様以上のグループで  
飲み放題できます。(+1,500円)

**会員特典** 会員証提示でソフトドリンク1杯サービス

住所: 野洲市市三宅2531 アルテールななのい1階  
電話&FAX: 077-586-6028  
営業時間: ランチ 11:00~14:00  
ディナー 17:30~21:30  
(ラストオーダー21:00)

JR野洲駅徒歩5分 駐車場完備  
定休日: 水曜日と第1・第3木曜日  
※定休日は予告なしで変更になる場合がございます。事前にご確認ください。



### 西洋料理 ロジェ・ソバージュ

西洋料理ロジェ・ソバージュからのお便り。昨年9月より今まで4つのテレビ番組で記念のフルコースを紹介していただきました。オードブルで始まりスープ、魚料理、肉料理、サラダ、デザート、コーヒーまたは紅茶、パン、順次召し上がっていただきます。

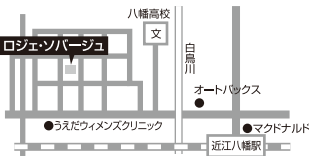
SIA会員様には、お飲み物をおつけして税込1,650円です。皆様のご来店をお待ちしております。



**会員特典** グラスワイン or ソフトドリンク or ノンアルコールビールのいずれか、お一人様一杯サービス

他のサービスとの併用はできません。

住所: 近江八幡市堀上町99-12  
電話: 0748-36-8123  
営業時間: ランチ 11:00~14:00  
ディナー17:00~21:00  
定休日: 不定休



### Siam Erawan サームエラワン



「微笑みの国・タイ王国」を紹介するサームエラワンは、シェフのノイさんが作る本物のタイ料理(当店はタイ政府よりタイ・セレクト・シングルネチャーの認証を得ています)のご提供や、タイ料理教室(出張可)など各種イベントを開催しています。ランチ・ディナーは夏期のみ営業です。公式ホームページから営業日やイベント内容をご確認いただけますのでご覧ください。(LINE・Facebook・Instagramあります)



**会員特典** 各種教室料金・飲食代(テイクアウトは除く)5%OFF

住所: 東近江市八日市町11-16  
営業時間: ランチ11:30~ 定休日: 日・月曜日  
電話: 0748-22-0422 携帯: 090-1131-9344  
URL: <https://www.siamerawan2558.com>



### ドイツレストラン ヴルツブルク German Restaurant WURZBURG



ドイツ春の代名詞! シュペーゲル(ホワイトアスパラガス)をご用意しております。ディナーメニューとなりますが、事前のご予約でランチタイムもご提供致します。春の味覚をどうぞご賞味ください!

**会員特典** 現金でのお支払いで会計10%OFF、  
クレジットカードのお支払いで会計5%OFF

※ご本人含む6名様まで ※その他割引との併用不可  
※会員証のご提示をお願い致します。

住所: 大津市由美浜5番地  
電話: 077-526-3500 FAX: 077-526-3539  
E-mail: [wurzburg@mx.bw.dream.jp](mailto:wurzburg@mx.bw.dream.jp)  
URL: <https://www.wurzburg.jp>  
営業時間:  
ランチ 11:00~15:30(ラストオーダー 14:30)  
ディナー 17:00~21:00(ラストオーダー 20:00)  
定休日: 不定休



### ミシガン州立大学連合日本センター

#### 〈2024 春季 英語プログラム受講生募集〉

【開講期間】

2024年4月2日(火)~6月15日(土) 全10回

【教室】ミシガン州立大学連合日本センター(彦根市松原町1435-86)

近江八幡教室(近江八幡市鷹飼町454-4 Nビル)

【クラス】

- 一般コース: 初級から上級まで5コース  
(1クラス60分・高校生以上対象)
- EBC: バイリンガル小中学生クラス

**会員特典** 受講料5%OFF(ご本人のみ)

※お申し込み時にSIA会員であることをお申し出ください。

〈**こども英語教室2024も随時募集中**〉  
(2024年4月2日~2025年3月15日)

住所: 彦根市松原町1435-86  
電話: 0749-26-3400 FAX: 0749-24-9356  
URL: <https://www.jcmu.net>  
E-mail: [sifah@mx.bw.dream.jp](mailto:sifah@mx.bw.dream.jp)



各クラスの  
詳細はHPを  
ご覧ください

## SIAメンバーズ



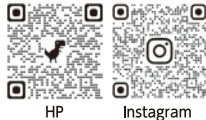
## アプルネの Online Japanese Class

しよきゅう、ちゅうきゅう、じょうきゅう。しょうせつ、マンガ、ビジネスにほんごも。げつようび～もくようび。あさ、ひる、よるのクラスも。ZOOMで。もうしこみはメール、HP、インスタ。



会員特典 **ねんかいひ3,000えん→2,000えん**

URL: <https://www.apprenez-langues.com/>  
E-mail: [apprenezlemonde@gmail.com](mailto:apprenezlemonde@gmail.com)



HP Instagram



## 地球雑貨アース・ヴィレッジ

東南アジアを中心に店主自らが現地へ赴いて仕入れた品々が所狭しと並ぶ民族雑貨店。その土地ならではの自然素材の特徴を活かした手作り雑貨や伝統的な民族楽器など、味わい深い品物を手に取って、地球に息吹く様々な文化や人々の営みを感じてください。



◀ジャンベ・ディジュリドゥーの取り扱い  
は国内最大級! 初めての方には演奏方法などレクチャーいたします。

会員特典 **SIA会員証提示で全商品5%OFF**

住所: 〒521-1311 近江八幡市安土町下豊浦5096-31

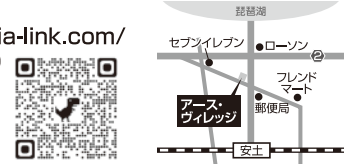
TEL: 0748-46-2007

URL: <https://www.gaia-link.com/>

営業時間: 9:00～18:30

定休日: 毎週日曜日

※ホームページ内でも商品の購入が可能です。



## トラベルコーナー

会員証を提示いただきますと、割引特典がご利用いただけます。  
お申込・お問い合わせの際には滋賀県国際協会の会員であることをお申し出ください。

## 東武トップツアーズ 滋賀支店

いつの時代も、旅には「安全」と「安心」が求められてきました。旅を愛する、旅を求める、すべての人たちと共に、東武トップツアーズは、新しい旅のあり方を追求してまいります。  
私たちは、旅をあきらめずに提供し続けてまいります。

- 会員特典
- 国内パッケージツアー〈FEEL〉 基本旅行代金の5%割引
  - 海外パッケージツアー〈JALPACK〉 基本旅行代金の5%割引

住所: 草津市若竹町7-10 KB21-2階

電話: 050-9001-6304

FAX: 077-565-0112

E-mail:

[chiharu\\_hiraoka@tobutoptours.co.jp](mailto:chiharu_hiraoka@tobutoptours.co.jp)

URL: <https://www.tobutoptours.co.jp/>

営業時間: 9:30～17:30

定休日: 土・日・祝



## 琵琶湖汽船 ミシガンクルーズ



びわ湖の南湖を周遊する、赤いパドルが目印の外輪船。湖国大津の玄関口・大津港の他、事前予約制でのおの浜観光港や柳が崎湖畔公園港にも寄港するので、三井寺や石山寺、比叡山などの観光と組み合わせるとお手軽にびわ湖遊覧を楽しんでいただけます。船内では360度に広がる景色をデッキから望める他、観光案内やショータイムもミシガンならではのお楽しみとして充実したクルージングをお過ごしいただけます。



会員特典 **ミシガンクルーズ 乗船料10%引(本人含む5名様迄)**  
※企画商品などは除く・他割引併用不可

※ピアノカまたは、他の船舶が運航する場合がございます。運航ダイヤなど、詳しくはお問い合わせください。

住所: 大津市浜大津5丁目1-1

電話: 077-524-5000 FAX: 077-524-7896

URL: <https://www.biwakokisen.co.jp>

営業時間: 9:00～17:00(予約センター受付時間) 定休日: 無休

## SIA会員募集のご案内

当協会の活動に対する理解と幅広い参加をいただくために会員を募集しております。国際交流や多文化共生地域づくりに関心をお持ちの方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- 当協会主催イベント参加費の割引
- SIAメンバーズ各店での利用割引、優待等
- 当協会情報誌のお届け
- 県内イベント案内のメルマガ配信
- 国際情報サロン図書等や国旗の貸出サービスあり

会費

- 学生会員 1口年額 1,000円
- 個人会員 1口年額 2,000円
- 団体会員 1口年額 10,000円

会員情報

[現在の会員数] 2024年2月末日現在

●個人会員/229人 ●団体会員/87団体

[新規入会] 2023年11月1日～2024年2月29日

●個人/1人 ●団体/1団体

SIAサイトはこちら



ホームページ



Facebook

## 自動証明写真機

### 設置のお知らせ

滋賀県パスポートセンター入口横に自動証明写真機を設置しています。是非ご利用ください。

場所

ピアザ淡海1階  
滋賀県パスポートセンター入口横  
(大津市におの浜1-1-20)

費用

通常仕上げ… 900円  
美肌仕上げ… 1,000円